

平成 20 年度第 6 回（9 月）理事会議事録

- ◇ 日 時：平成 20 年 9 月 11 日（木）午後 6 時 30 分～8 時 26 分
- ◇ 会 場：社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者：今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、荒木、田畑、出野、山田、宮野、
酒井、栗本、山西、小宮山、東野、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者：高橋、井戸田、村上
- ◇ 議 長：今井

【 討議内容 】

I. 行動報告（8 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

特になし

2. 近臨技

- ・ 会長会議を 8 月 10 日京臨技事務所にて開催した。
日臨技の下部組織として、今年度も引き続き JICA 関連事業を行う予定である。
- ・ 9 月 10 日 12：00～13：00 会長会議：特になし。
13：30～14：30 日臨技支部化に関する打合せ会
15：00～17：00 第 2 回近臨技理事会

1) 公益法人移行についての説明があった。

- ・ 日臨技の進捗状況報告があった。
- ・ 近臨技各府県からの進捗状況報告では、各府県での温度差があった。
- ・ 11 月頃には日臨技の意見の収集結果が出る予定である。
- ・ 今後の日程として、3 月に定款内容を変更し申請書を提出する。来年度中には認可が下りれば、総務省に登録後、近臨技が支部化される予定である。
- ・ 公益法人対策部を立ち上げる。

2) 第 59 回医学検査学会の進捗状況報告があり、開催地は和歌山県で、メインテーマが「和」に決定した。

3) 第 48 回近畿医学検査学会（兵庫）の進捗報告があった。

- ・ 9 月 16 日各府県にプログラムを発送する。
- ・ 各府県技師会に座長の推薦依頼をせず、兵庫で直接個人に依頼をしたことに対し謝罪があった。次回からは技師会の推薦依頼をすることとする。
- ・ 一般演題 207 題が集まり、協力依頼のお礼があった。
- ・ 兵臨技から大臨技に受付用として、携帯端末 10 台を貸して欲しいと依頼された。理事会の決議により、学術部 6 台、総務部 1 台、渉外部 1 台、情報組織部 1 台、地区事業部 1 台を、10 月 8 日までに事務所に集め、10 月 9 日兵臨技に発送（着払い）する。

10 月 21 日までに、大臨技に返還してもらうことを兵臨技に伝える。

4) 第 49 回近畿医学検査学会の開催場所は、京都府に決定した。

- 5) 日臨技支部化対応部会を設置し、支部化の答申会を開く。
- 6) 近畿医学検査学会の表彰規程の見直しは次回の学会からとする。
- 7) 臨床検査技師の事件に関して、医療事故の勉強会を開催し注意継承を促して行く。
- 8) 日臨技から支部化の説明があり支部化対応部会が纏めて提案していく。

3. 事務局

〈総務部〉8月19日に部会を開催した。

- ・ 9月理事会の開催準備を行った。
- ・ 「大臨技会員名簿（平成20年8月1日現在）」掲載内容について目視による校正を行った。
- ・ 「年輪」の作成について検討した。
- ・ 大臨技後援・共催規定について討議した。

〈広報〉

- ・ 大臨技ニュース8月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。
- ・ 新印刷会社フジイ・カラーリプロ担当者と面談し、今後の打合せを行った。

〈会計〉8月19日に部会を開催した。

- ・ 7月度収支計算書を作成した。
- ・ 日臨技へ7月分会費の送金を行った。
- ・ 平成20年度日臨技各種助成金の送金を確認した。

〈渉外部〉8月19日に部会を開催した。

- ・ 今年度の献血活動について
 - ① 平成20年8月9日の反省をした。

献血参加は、受付83人、採決69名、ボランティア参加15人であった。
 - ② 平成21年2月14日に30回記念として企画案を検討している。

11月20日・12月20日日臨技共催公益目的事業申請予定。
- ・ 府民健康フォーラムの進捗確認として相談コーナー担当の人選と配布チラシの検討をした。10月部会で運営決定する。
- ・ 合同フォーラムの進捗確認を行った。

会場候補および後援依頼について検討。9月2日開催の会議準備し、11月20日申請予定。
- ・ 手話講演会の進捗確認を行った。
- ・ 日臨技公益事業活動への申請について討議した。

4. 事業局

〈情報組織部〉8月13日に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会（8月16日）の最終打合せとテキスト作製を行った。
- ・ 職域部会（11月7日）の内容を検討した。
- ・ 新入会員研修会（8月16日）を成人病センターで開催した。

〈地区事業部〉8月18日に部会を開催した。

- ・ 9月13日(土)の会員交流会について話し合った。
- ・ 新事業についての検討を行った（来月の理事会に提出予定）。
- ・ 北支部長の米田氏が他府県へ職場移動のため、後任に竹下氏(大阪府三島救命救急

センター)が就任する。

〈学術部〉8月22日に部会を開催した。

- ・ 第12回大臨技フォーラムについて検討した。
- ・ 第3回大臨技教育セミナーについて検討した。
- ・ 第2回大阪府臨床検査技師会 ICLS コースについて検討した。
- ・ 平成21年度事業計画について検討した。

Ⅲ. 報告事項

1. 会員交流会の進捗状況について

9月13日(土)15:40から、JICA大阪にて開催される。

交通の便が悪く、当初の予定より人の集まりが悪いため、さらにPRをお願いした。

2. データ標準化事業(10月本サーベイ)の進捗状況.

- ・ プレサーベイの結果は良好で、プール血清は4℃保存で安定した。LCAT阻害剤添加試料では、ALT・HDL・r-GTP・グルコースで低値を示した。HDL・LDLは試薬間差がみられた。
- ・ LCAT阻害剤添加の有無で測定値レンジに有意差は認められなかったため、本番サンプルにも阻害剤は添加しない。
- ・ 参加施設は、現在69施設であり、これに基幹施設・メーカー17施設を加え。計86施設となる。賛助会員には本サーベイ開始に伴い参加要請をした。
- ・ 10月13日サンプル調整、10月14日に本サーベイ予定。サンプル採取当日、大阪市大に9時集合してもらい、1人30ml×20名で計600ml採取予定であるため、役員の参加を要請した。
- ・ 消耗品は発注済み。参加費払込期限は9月30日迄とする。

3. 第4回府民健康フォーラムの進捗状況について

- ・ 9月25日14:00から薬剤師会館で健康フォーラムの会議を行う予定。
- ・ 相談コーナー担当者として、杉山氏(市立岸和田市民病院)、栗本氏(理事)、大垣氏(理事)に依頼した。

4. 新入会員研修会(8/16)の報告

参加者は、会員39名(うち新入会員27名)、非会員1名で計40名だった。

例年のようにクイズ形式でディスカッションし盛り上がった。

5. 公益法人移行委員会報告

- ・ 日臨技における公益法人の概念について説明があった。
- ・ 他府県では、相談コーナーを設けている。
- ・ 大臨技は、8月27日に第1回公益移行化委員会を常務理事会後に開催した。
- ・ ガイドラインを配り、問題点を抽出して行く。
- ・ 今後、常務理事会後に公益移行委員会を開催し、逐次報告をして行く。

6. その他

- ・ 近臨技支部化は、決定済み。
近臨技会費300円は、支部化になれば日臨技から出費されることになる。
- ・ 平成21年1月号大臨技ニュースから納入会費金額について、日臨技10,000円、大臨技5,000円と提示し近臨技分は削除する。

- ・ 会員名簿について
 - ① 名簿不掲載希望者は、今後、不掲載申請書と当年度会員証のコピーを添え事務所に送付することとした。今回は、20名の不掲載希望があった。
今後、会員名簿の発行について検討する。
 - ② 大臨技組織図の変更をした。顧問を無くし、監事の表示位置の変更、部会の変更等など。
 - ③ 選挙管理委員会委員の変更
児玉氏が定年退職のため、新委員として矢羽田氏（大阪府医師会保健医療センター）を推薦し、承認された。
 - ・ この件に関し、委員推薦基準について質問があり討議の結果、今後は、理事からの推薦等を収集し、理事会で決定することとした。
- ・ 合同フォーラム会議について
平成21年1月17日大阪市立中央青年センターにて開催。10月25日に運営日程を決める。参加料は無料とする。

IV. 議 題

1. データ標準化における送料および採血ボランティアの交通費について
 - ・ サンプル送料として、関西圏は950円、関東圏は1,050円かかり、サンプル送付用の箱代45円、中敷58円かかるため、経費合計は、関西圏1,050円、関東圏1,150円との報告があり、このことについて承認された。
 - ・ 採血ボランティアには、交通費として2,000円を支払うこととした。
2. その他
 - ・ 第48回近畿医学検査学会において兵臨技が行った座長依頼は、各技師会に報告する義務があるため、その旨を兵臨技に伝えることとした。
 - ・ 衛生検査所精度管理専門委員の大阪府担当委員である米田孝司氏（国立循環器病医療センター）の退職に伴い、残任期間を運天副会長に依頼し承認された。
 - ・ 加藤勝也賞受賞該当者の推薦を要請した。
 - ・ 近臨技における日臨技支部化対策のメンバーを決めた。
大阪4名・兵庫1名・京都1名・奈良1名・和歌山1名・滋賀1名・福井1名・日臨技1名。